

読響

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

新鋭・金川真弓が
ブラームスの傑作を弾く!

チャイコフスキー国際コンクール入賞
ベルリンを拠点に欧米で活躍する本格派
ヴァイオリン
金川真弓
Violin= MAYUMI KANAGAWA

名匠ヴァイグレが振る

ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場など
世界の檜舞台上で活躍するドイツの名匠

常任指揮者

セバスティアン・ヴァイグレ

Conductor= SEBASTIAN WEIGLE

ベートーヴェン:
「コリオラン」序曲 作品62
BEETHOVEN: Coriolan Overture, op. 62

ブラームス:
ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77
BRAHMS: Violin Concerto in D major, op. 77

シューマン:
交響曲第2番 八長調 作品61
SCHUMANN: Symphony No. 2 in C major, op. 61

《ドイツ・ロマン派名曲選》

2023
2.17 Fri.

読売日本交響楽団 第660回 名曲シリーズ
サントリーホール 19:00
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Popular Series No. 660
Friday, 17 February 2023, 19:00 Suntory Hall

S ¥7,600 A ¥6,600
B ¥5,600 C **SOLD OUT**

読響チケットセンター 0570-00-4390(10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

名匠ヴァイグレが振る 《ドイツ・ロマン派名曲選》

金川真弓とブラームスの名作協奏曲の神髄に迫る!

2月の《名曲シリーズ》は、ドイツの名匠ヴァイグレが登場。シューマンとブラームス、ドイツ・ロマン派を代表する作曲家の名作を指揮し、温かく豊潤なサウンドを読響から響かせる。ブラームスの傑作協奏曲では、ベルリンを拠点に国際的に活躍する金川真弓が共演し、ヴァイオリン独奏に心を込める。ドイツ音楽の本流を聴かせる名匠と俊英、この選りすぐりのタッグは必聴ものだ。

交響曲第2番は、シューマンが精神的な障害に苦しみながらその危機を乗り越えて完成させた。陰鬱な冒頭に始まり、終楽章はティンパニの連打で壮麗なフィナーレを築き上げる。作曲家の闘争から勝利までの痕跡がまざまざと刻まれた珠玉の一曲と言える。ドイツ音楽を得意とするヴァイグレだが、東ドイツに生まれた彼にとって、ツヴィッカウ生まれのシューマンは特に意識を傾けてきた作曲家の一人だ。その緩急自在なタクトで、苦難を乗り越えて歓喜に至るドラマを陰影くっきりと描き出し、シューマン特有の“歌”にあふれたメロディから憧れや秘めた情熱を浮き上がらせて感情の襞を鮮やかにすくい取るだろう。作曲家の魂を呼び起こす名演に期待が高まる。

前半は、新鋭ヴァイオリニストの金川真弓が登場し、ブラームスの協奏曲を披露する。ブラームス唯一のヴァイオリン協奏曲であり、溢れんばかりの創作意欲を感じさせる。今日でも屈指の名曲として燦然と輝きを放つ協奏曲だ。国際派の俊英・金川が、生き生きとした旋律を歌い上げ、抜群のテクニックで華やかなソロを繰り広げるだろう。金川は、2021年にブルッフの協奏曲でヴァイグレと初共演を果たしたが、作品の神髄に迫る彼女の演奏にはマエストロも大絶賛した。その運命的な出会いが実を結び、今回の再会へと繋がった。二人は、本場ドイツの響きで真骨頂を発揮するだろう。丁々発止のかけあいをお見逃しなく。

冒頭は、ベートーヴェンの序曲「コリオラン」で劇的な幕開けを飾る。ヴァイグレの指揮のもと、ベートーヴェンからシューマン、ブラームスへと受け継がれるドイツ・ロマン派の源流がひとつにつながる。



セバスティアン・ヴァイグレ 常任指揮者

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス(影のない女)を振り、雑誌「オーパンヴェルト」の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は「オーパンヴェルト」の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。



金川真弓 ヴァイオリン

音楽への飽くなき探求心と、豊潤かつ深い音色で国際的に活躍する新鋭。ドイツ生まれ。12歳でロサンゼルスに移り、今はベルリン在住。ハンス・アイスラー音楽大学でブラッハーに師事。2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、18年ロン＝ティボー国際コンクール第2位入賞及び最優秀協奏曲賞を受賞し、一躍注目を浴びた。これまでに、プラハ放送響、マリンスキー劇場管、モスクワ・フィル、フィンランド放送響、ドイツ・カンマーフィルなどと共演。22年はベルリン・コンツェルトハウス管やロイヤル・フィルヘデビューし話題を呼んだ。藤田真央とデュオを行うなど、室内楽にも積極的に取り組んでいる。読響にも21年ヴァイグレ指揮で初共演し絶賛された。使用楽器は、日本音楽財団賞与のストラディヴァリウス「ウィルヘルム」(1725年製)。

読響日本交響楽団 第660回 名曲シリーズ

2023年 2月17日(金) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001
S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C **solpout**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ <https://yomikyoku.or.jp/>